

広 報

ひろ

JANUARY 2009

No.568



○みどり幼稚園、年長さん最後の生活発表会！とても格好良かったよ♡ お疲れ様でした。
(撮影者：大平綾子さん)

1

特集 P 2 - 9 対談 私たちの「救急医療」を支えていくために
このまま休日や夜間の診療が増え続けると、緊急時の受入が困難な事態も
P12 - 13 地域活動レポート⑤
ミニバレーを通して体力の維持と健康づくり。地域の輪を広げます。

P14 ズームアップふらの P16 消費生活・健康情報
P18 暮らしの情報

編集 富良野市企画振興課



対談 私たちの「救急医療」を支えていくために

休日に救急患者が40人。

「実態は8割が軽症」

「仮眠もとれない当直医」

能登市長 あけましておめでとうございます。富良野医師会、富良野協会病院には地域医療に特段のご尽力をいただき、お礼を申し上げます。

住民の生命と安心できる環境を確立することは行政の役割なのですが、最近、妊婦の救急搬送や受入体制などの救急医療が全国的に大きな問題になってきています。富良野圏域の現状をご紹介します。

高橋会長 救急医療は富良野圏域でも大きな課題を抱えております。富良野市の一次救急医療については、平日夜間を在宅番制で富良野医師会が担っており、それ以外の休日夜間と二次救急医療については地域センター病院である協会病院が担うことで、365日24時間体制をとっております。患者数は年間で見ると1日20人平均になりますが、このうち在宅当番医にかかる人は多くて2、4人で、ほとんどは二次救急の協会病院を受診している現況で、しかもその8割が急病ではなく軽症患者というのが実態です。これが医師の過重労働につながっており、大変な問題になっております。

にお伺いしたいのですが。

羽根田院長 高橋会長からお話いただいたように、協会病院には平日の時間外で1日約20人、土曜と日曜、祝日には約40人が受診に訪れています。このほかに入院患者さんの急変や救急搬送などにも対応しなければならぬ状況ですから、当直医は仮眠も取れない状況です。当直は医師が月に2、3回担当し、救急搬送も月2、3回はありますので、眠れなくても翌日は引き続き勤務しなければならぬという、ある意味では過酷な状況です。都市の病院では当直は40歳以下の医師のみで行われていたり、回数も月2回です。現在の状況が続きますと医師が疲弊して、救急患者の対応が十分にならないということ、医師会とも相談して救急医療を考えているところです。

能登市長 医師会が考えていらっしゃる救急医療体制の整備の方向をお聞かせください。

高橋会長 昨年の春に救急医療対策委員会を立ち上げて協議・検討してきた結果を10月に能登市長に提案させていただきました。1つは、一次救急は従来どおり医師会が行いますが、提供場所を協会病院とすること、2つ目は、時間帯は平日の午後6時30分から午後11時30分とし、これ以外の時間については協会病院の医師に担当していただくことを決めました。圏域の救急



医療体制の構築や行政サイドによる提供施設の恒久的な設置という課題もあるのですが、まず、暫定的ではありませんが、先の2点を進めることが現時点では唯一無二のものだろうと判断しています。

能登市長 いま、高橋会長が話された内容について羽根田院長はどう考えますか。

羽根田院長 ほとんどの患者さんが当番医ではなく協会病院を利用している状況があります。先ほど話があつたとおり軽症の患者さんが救急診療で来られて苦慮している部分もありますが、市民のみなさんに聞きますと一次救急も二次救急も協会病院ということなら安心感があるといえます。

平日の夕方以降に開業医の先生が来ていただければ、その時間帯は入院患者さんの診療などにも充てられますし、二次医療の救急患者さんの対応にもすぐに当たれますので、当直医の精神的、肉体的な負担の軽減にもなります。

4月から協会病院に 救急窓口を一元化。

医師会が出向いて提供へ

高橋会長 一次救急を提供する協会病院まで医師が出向くわけですから経費も必要ですし、外来看護師も必要になります。これらの経費や看護

このまま休日や夜間の診療が増え続けると…

緊急時の受入が困難な事態も

医師会と地域センター病院の連携によって市民に提供されている救急医療が、いま、大きな課題を抱えています。軽症患者の安易な救急受診、二次医療機関への集中、医師不足と過酷な勤務環境などが、その大きな要因です。

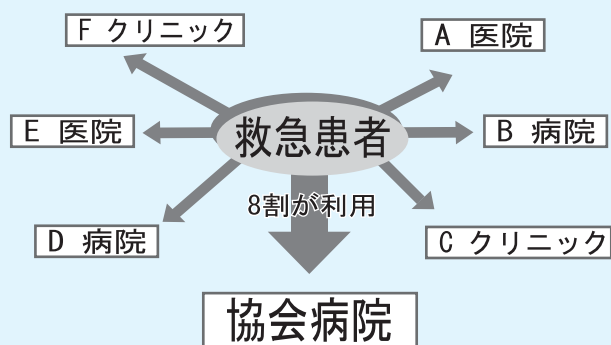
広報ふらのでは、富良野医師会の高橋尚志会長、富良野協会病院の羽根田俊院長、能登芳昭富良野市長の3人に、崩壊の危機にある救急医療の重要性とその実態、再構築に向けた体制づくりなどについて語っていただきました。私たちが救急医療とどのように向き合い、どう支えていけばいいのか、一緒に考えてみたいと思います。



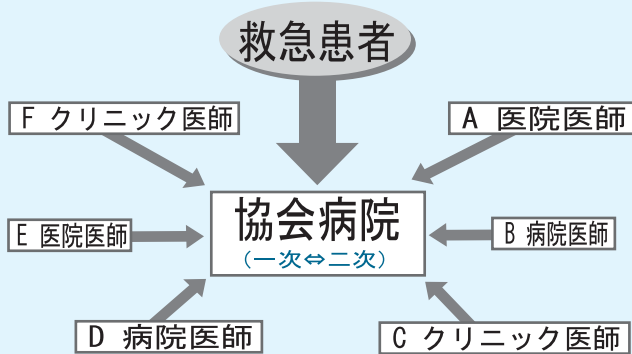
能登芳昭富良野市長

一次救急医療の提供方法が 4月1日から変わる予定です

【現状】 平日の夜間は医師会が当番制でそれぞれの診療施設で、土日・休日は協会病院が一次診療を提供しています。



【今後】 一次診療の場所が協会病院に一元化され、平日の夜間は医師会の医師が出向いて提供される予定です。



師の確保については行政にお願いしたいと考えております。能登市長 高齢化社会、少子化社会を迎えて医療の体制づくりに対する行政の責任は重くなっております。しかし、医師会の協力をいただかなければ困難な状況ですから、医師会からの提案に沿って4月1日から実施できるような、支援体制を整備していきたいと考えています。

今後、医師不足を解決することが救急医療を支えるうえでも必要なのですが、全道的に医師不足が深刻な問題になっています。羽根田院長は医師の確保に東奔西走されていますが、現状をどう捉えていますか。

羽根田院長 今の医師数は北海道21圏域では根室、宗谷、日高に次いで4番目に低いのですが、他の地域と比べれば富良野は知名度が高いという利点があり、比較的確保されている方だと思います。しかし、全体的に医師が不足している現状では、過重労働を避けて医師の多いところを望む傾向があります。

能登市長 医師会でも医師確保に取り組みれておりますが、高橋会長 医師不足の一つの要因として、新臨床研修医制度の導入によって、大学の医局に医師が少なくなり、地方の病院に医師の派遣ができなくなったことあります。ですから、大学の医局は頼りにできなくなり、我々としては、独自策を模索し始めなければいけないと思っています。大変難しい状況ですが、開業医と勤務医の連携がますます重要で、今回の対策案のように、夜間は一次救急医療に開業医が参加し、病院勤務医負担を減らすことも大事になってきます。今後也能登市長とともに医師確保のために汗を流す覚悟でございます。実は、富良野の救急体制が崩壊する危機感をもったことがあります。一昨年、北大の第1外科が協会病院から外科医2名を引き揚げました。外科医がいないと救急医療体制はとれません。富良野の救急は終わったと当時は考えました。しかし、空白を置かずに、能登市長



羽根田俊富 富良野協会病院院長



高橋尚志 富良野医師会会長

をはじめ沿線の首長さんの努力により旭川医大第2外科から医師の派遣が決まりました。旭川医大第2外科には本当に感謝しております。

能登市長 沿線1市3町1村にとつて、地域センター病院の位置づけはさらに大きくなっています。沿線の首長も陳情を通じて羽根田院長の力の大きさ、地域センター病院に対する認識が随分変わってきたと思っています。今後、運営委員会を積極的に開催して情報を共有することが重要になりますね。

羽根田院長 能登市長に運営委員会を開催していただき、私たちの病院には内科医が少ないという話を沿線首長さんにしたところ、南富良野町から藤井先生、上富良野町から白田先生に応援に来ていただいております。そのほかに、芦別市立病院の細川院長、北の峰病院の門田先生にも来ていただいております。このような地域センター病院への支援は大変助かっていますし、勤務している医師のモチベーションも上がっているところです。

救急医療の継続は

協会病院の体制確保と

市民の適切な利用で

能登市長 救急体制が協会病院に変わる中で個々の患者にどう対応

していくのか。これからは病院側も住民の理解を得ることも必要になつてきますが、どういったことを住民に望まれるのかお伺いします。

高橋会長 救急医療を継続していくためには、最低限、現在の協会病院の体制を確保しなければなりません。それと、救急医療に携わる医師の負担の軽減を図るためには、救急医療というものについて再度認識をしていただき、適正な受診をお願いしていくこととなります。普段から平日の時間帯に早めの受診を心掛けるとか、「かかりつけ医」に診てもらうことが大切になります。

羽根田院長 協会病院では救急患者さんを診ることは義務だと思っています。ただ、4、5日前に風邪をひいたといった軽症患者さんの休日や夜間の救急受診については住民のみなさんも考えていただければと思います。協会病院もぎりぎりです。協会病院もぎりぎりでもご理解をいただきたいと思います。新しい救急体制になりますと当番医がどこなのか迷わずに協会病院に来ることになりますので、受診の仕方について、市、医師会、協会病院が一つになって市民の方に周知し、適切な利用をお願いしたいと思っています。

能登市長 機会あるたびに広報紙や地域懇談会、会合などを通じて周知理解していただく状況づくり

市内の医療機関

医療法人社団 博友会	ふらの西病院 北の峰病院	富良野市桂木町 2 番77号 富良野市中御料2062	23-6600 22-2011
社会福祉法人 医療法人社団	北海道社会事業協会富良野病院 かとう整形外科クリニック	富良野市住吉町 1 番30号 富良野市本町 6 番 8 号	23-2181 22-3795
医療法人社団	田村外科医院 渡部医院	富良野市本町 7 番 2 号 富良野市本町 1 番10号	22-2725 22-2025
医療法人社団	高橋内科医院	富良野市栄町10番 1 号	23-3322
医療法人社団	かわむら整形外科医院	富良野市末広町 6 番20号	22-4341
医療法人社団	いんやく小児科クリニック	富良野市弥生町 6 番30号	39-1177
医療法人社団	内海内科クリニック	富良野市弥生町 6 番31号	39-1133
医療法人社団	はやし耳鼻咽喉科クリニック ふらの皮膚科内科クリニック	富良野市瑞穂町 1 番 1 号 富良野市住吉町 3 番33号	23-8733 23-8880
医療法人社団	おおつぼクリニック	富良野市山部 2 条通南 1 丁目	42-2009

に努めていきたいと考えています。先ほどの医師の確保は大変厳しい環境にあることは事実ですが、この点でもう少しお話をいただければ。

高橋会長 国では医学部定員を1・5倍に増やすといいますが、今すぐ増員しても医師養成には10年もかかります。非常に難しい状況ではあります。コネクションなどをうまく使いながら地道な活動を続けることが必要ではないでしょうか。

能登市長 市でも富良野ゆかりの医師を確保しようと取り組んでいるところですが、また、医師に定着していただくような状況づくりをする必要性もあるので、昨年からの参事監という職を設けて、体制整備を行っているところですが。

不足する医師と看護師。確保には地域一体の取り組みが不可欠です

羽根田院長 市が富良野出身の医師本人に話をしていただけで富良野に目を向けてくれる医師もいますので大変ありがたいことだと思っております。また、市民に病院を視察していただいておりますし、病院医師と市の保健福祉部関係者との会談では、赴任した医師みんなに富良野においてほしいと望んでいる話があつて感謝しています。医師確保で



小児科角谷不二雄先生

2月に「こどもの救急」の冊子をお届けします
就学前のお子さんをもつ家庭に

「下がらない熱、どうすればいいの?」「明日の診療時間まで待てるかしら?」「すぐに病院に連れて行ったほうがいい?」

◇
こどもが大きくなるまでには風邪や腹痛、下痢など、さまざまな病気に出会います。富良野協会病院の角谷不二雄副院長など小児科の先生にご協力をいただきながら、就学前のこどもをもつ家族に、病気で困ったときのヒントとして活用していただくための救急ノート「こどもの救急」を現在、作成しています。

「泣き止まない」ときの症状や「発熱」の症状、「けいれん、ふるえ」の症状、「意識がおかしい」「頭痛」「せき」など、こどもによく見られる約20の症状を例示し、「救急外来の受診が必要なのか」

一次救急医療とは

入院を必要としない軽症の救急患者に対応するもので、在宅当番医制などにより市町村を単位に実施しています。

二次救急医療とは

入院や手術を必要とする重症救急患者に対応するもので、道内21の医療圏単位で複数の病院により実施しています。(富良野圏域は、富良野協会病院が担っています)

三次救急医療とは

生命の危機が切迫している重篤患者に対応するもので、道内6つの医療圏単位で10カ所の救命救急センターで実施しています。(道北圏域は、旭川赤十字病院救命救急センターが担っています)

従来の10対1では低くなり、大きな都市の病院に看護師が集中してしまつたことが原因の一つです。もう一つは看護師の過酷な労働実態があります。そのため、1年以内の離職率が9・3%もあるんですね。ある病院では看護師が不足して病棟の一つを閉鎖する事態になつたと聞いております。

羽根田院長 協会病院でも看護師が離職する状況があります。年に12人が入っていただければやっていけるのですが、ただ、先ほどの7対1となると看護師基準には30・40人ほど足りませんし、今はぎりぎりの状態でのいであるのが実態です。今年度は富良野看護専門学校から3人しか就職がなく足りない部分を他から就職していただいています。卒業生の10・15人くらいが協会病院や地元沿線、芦別地域に就職できるようなシステムができればと思っています。

能登市長 富良野看護専門学校は平成6年に開校していますが、圏域の高齢化社会に対応する看護師の養成という大義があります。羽根田院長の話にあつたとおり、学校から協会病院への就職は3・5人と非常に少ない状況になっています。今年から定員が40人から30人に減りますが、地元高校の推薦枠を3分の1程度まで拡大して地元の病院に勤める体制づくりができないか、また、

中学生に看護や医療の実態や魅力を伝え、理解していただくことも必要ではないかと考えています。

羽根田院長 ぜひお願いします。

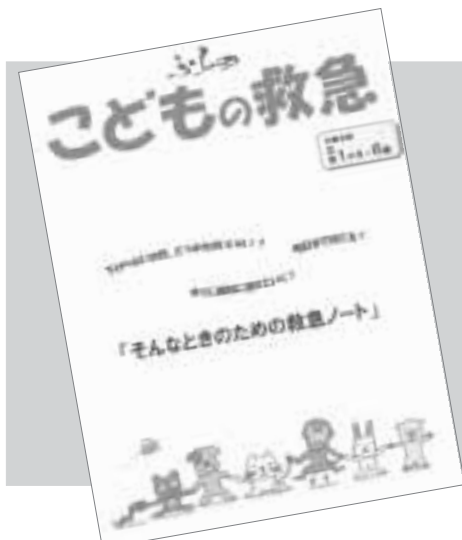
高橋会長 今は、救急医療体制も医師確保もそうですが、現場と行政、地域が一体となって取り組まないと困難な時期なんですね。

安心できる子育て環境

「小児救急には本当に感謝しています」

能登市長 富良野市は小児科が充実していますね。角谷副院長を中心に講演会や講習会を開催していただいているところですが、過日、小児救急の冊子が必要なのではないかという提案がありました。角谷副院長には業務以外のことで大変お世話になりましたが、圏域で作成して就学前の子どものいる家庭に配布することを決めました。病院側の救急の軽減にも期待していますが、いかがですか。

羽根田院長 小児科は救急外来を受診する患者さんが一番多い診療科で、沿線だけでなく小児科のない芦別からも多数来院しています。特に親御さんが心配されますので、そういったマニュアルに沿って家庭で措置できるものなのか、病院を受診するものなのか、ある程度判断で



「明日の小児科外来の診察時間まで待つて受診してもいいのか」「家庭での対応でいいのか」など迷ったときの参考にしていただけという工夫を加えて、2月にはお届けする予定です。

北海道小児救急
電話相談も利用できます
011 232 1599
または
短縮ダイヤル 8000
月 土曜日、午後7 11時

見にはなりません。患者さんのなかには、もう少し早く受診していればと思う方もいます」と言います。

毎日の激務のあいまに、温泉に行くのが息抜きと話す山口先生は、十勝岳温泉からトムラウシ温泉まで、この付近の温泉はほとんど行っているそうです。また「富良野は気候的には厳しいが、良いところですよ」「先週放送の風のガーデンは泣けた」と話してくれました。

きるものが必要ではないかと思っ
ています。将来、内科などにも範囲が
広がれば、先ほど高橋会長がおつ
しやった軽症の患者さんが減るの
はないかと思えます。ただ、判断で
きない時には遠慮なく病院を受診し
ていただければと思っています。
高橋会長 市民に啓発していくこと
は大事なことです。富良野の小児科
は協会病院や開業医の印鑰先生も
いて恵まれていますし、本当にがん
ばつてもらっていると思います。特
に、小児救急に関しては、ほかに輪
番制病院がなく、協会病院の小児科
医4名により24時間、365日オン
コール体制で救急及び夜間診療と一
手に引き受けていただいております、本
当に感謝しております。小児科は不
採算部門といわれておりますが、無
かつたらこの圏域の若いご夫婦は安
心してこの地に住めなくなりませ
う。人口の減少にもつながります。
羽根田院長 確かに不採算部門で
す。が地域センター病院の使命だと思っ
ています。しかし、市立の病院では
援助がもらえませんが、私たち公的病
院の地域センター病院には援助があ
りませぬ。国の制度の問題なので
が能登市長には頑張っていたら
おりますが、そういった部分も期待
しているところです。

対象は100床未満なんですね。こ
れでは北海道はほとんど該当しま
せん。時代にあつた地域医療を守るた
めの新しい基準づくりを厚生労働省
に要請していきます。公的病院に対
して交付税の還元がまったくないた
めに、富良野市の特別地方交付税は、
市立病院のある土別市や名寄市と比
べて3分の1程度になっています。
公的と公立、何が違うのか、私は同
じだと思っています。こうした矛盾
を北海道にも働きかけて課題を解決
していきたいと考えています。

山口産婦人科部長

富良野圏域と芦別地 域の安全安心に奮闘

能登市長 それから、協会病院の産
婦人科では山口先生が1人体制の中
で奮闘されております。道内で4つ
の地域センター病院と基幹病院で産
婦人科医がいなとお聞きしていま
すが、富良野にとつては大変ありが
たいことです。富良野市の出生数は
年間に190人くらいありますので、
市民が安心して出産できる恵まれた
環境にあることを理解することも大
切です。

高橋会長 地域周産期母子医療セン
ターに指定されていることもありま
すが、産婦人科の医師がいるとい
ないでは、小児科にも大きな影響があ

救急通報のポイント

119番通報するときは、次の
9つの「ポイント」を意識して、
落ち着いて正しく情報を伝える
ことが重要となります。

ポイント1

火災か？ 救急か？

まずは、消防車
が必要なのか。
救急車が必要な
のかを伝えます。

ポイント2

どこで？

救急車が向かう
住所を伝えます。
住所が不明なら、
目印になる建物
などを伝えます。

ポイント3

だれが、 どうしたか？

本人か、家族か、
それとも第三者
なのか、その人
が病気なのか、
怪我なのかを伝
えます。

ポイント4

性別は？ 年齢は？

男性か、女性か
年齢はいくつな
のか。分からな
ければ、何歳代
か伝えます。

ポイント5

意識はある？

意識ははっきり
しているのか。
ぼーとしている
のか、意識が無
いのか伝えます。



富良野協会病院 産婦人科部長

山口 正幸 先生

「遠いところまで行かなくても、ここに病院があるのだから、ここで出産できるのですよ。冬道は特に大変ですからね」と話される山口先生の

もとは、芦別、日高方面からの来院も多く、「病院があることが何よりも重要なことと思います」と話されます。

「若い妊婦さんにタバコを吸う方が結構いますね。それによって一般的に小さめに生まれ、将来的に糖尿病になりやすいというデータがあるんですよ」。また、子宮がん検診については「年1回は受けないと早期発

りますので、大事にしていかなければなりません。羽根田院長 山口先生は芦別市からきていただいたのですが、芦別地域には産婦人科の医師がいないので、富良野圏域プラス芦別、赤平をカバーする大事な産婦人科、小児科となっています。能登市長 市民の皆さん方に、富良野でがんばっていらつしやることを知っていただくことも大切ですね。羽根田院長 勤務医の若い人は1年、2年で交替ということがありますが、診療部長などは富良野が気に入ってずっと住みたいと話しています。短期の先生方も市民とふれあう機会をつくることで10年20年と住み続けたいと思ってくれるのではないのでしょうか。能登市長 そういう機会が足りなかったと思っています。これからはいろいろな先生方も進めていく必要がありますね。

今日は、救急医療をどう支えていくかということテーマにお話をしました。最後に、今後について一言ずつお話をいただきます。高橋会長 救急医療は絶対に守らなければなりません。対策委員会でも対策案を出させていただいています。救急医療もやはり不採算部門です。マンパワーも人件費も必要になってきますので、実施にあたっては行政に支援をお願いしたいと思っています。また、平成19年度の富良野市の時間外救急を調査した結果を見ると、富良野市民が約60%、次は観光客なのが特徴で、上富良野や中富良野ではないんですね。救急医療は、市民にとっても観光客にとっても重要なインフラですから絶対になくしてはなりません。羽根田院長 協会病院や医師会は救急医療を行う義務がありますし、救急患者さんを診たいという気持ちもあります。ただ、マンパワーの問題もありますので、患者さんによってはその日に診なくても次の日でも大丈夫なときは次の日に受診していただくような病院側と患者さんの相互理解、話し合いが必要かと思えます。こういった医療の課題などについても行政が中心となって広報していただくのがたいです。能登市長 新春の対談を通じて高橋医師会会長と羽根田協会病院院長のお二人のお話から、今後の富良野地域の救急医療について、市民、病院、行政それぞれが一体となって協力していく重要性が確認されました。行政としても補完的な部分については十分要請に応えるような支援と体制づくりを進めていきたいと考えています。お二人には今後も地域医療の充実に、より一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。本日は、ありがとうございました。

ポイント6

携帯電話からの通報は？

住所を市町村から伝えてください。電波の状況で、近隣の消防署に繋がることがあります。

ポイント7

呼吸はしているか？

普段と同じか、苦しそうなのか、呼吸はしているのかを伝えます。

ポイント8

あなたの名前と連絡先は？

救急隊や通信室から再確認する際に必要です。正確に伝えてください。

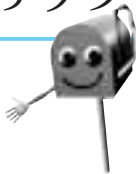
ポイント9

通報後は？

消防や救急隊から詳細確認の連絡があります。10分程度は電話が繋がる状態にしておいてください。

富良野地区消防組合
電話 23・5119

みなさんの意見をお寄せください (パブリックコメント)



意見募集期間

12月25日(木)～1月19日(月)

原案を作成した理由

この条例は、住んでいてよかったと実感できるまちを市民と市がともにつくりあげることが目的で、平成17年7月1日から施行されています。市の仕事を市民に公表し、市民の意見が適切に反映されるために必要な手続について定めたもので、この3年間に対象となったのは69事業で、パブリックコメントや意見交換会、審議会など123の手続きを行い、延べ4,245人の市民が参加しています。条例では、「施行後3年を超えない範囲で見直しを行う」(第35条)としていることから、過去3カ年の運用実績を総括的に検証してきた結果、制度としての枠組みや各条項については現段階では変更せずに、この制度がしっかりと定着できるよう運用方法に改善と工夫を重ねていき、今後も3年を単位に検証し見直しを行えるように第35条の条文を一部改正しようとするものです。

富良野市情報共有と市民参加のルール条例の改正 (3年毎に見直しを行う規定に改正) 《概要》

原案の概要

第35条第1項の条文中「この条例の施行後、3年を超えない範囲で見直しを行う」とあるのを「この条例の施行後、3年毎に見直しを行う」に改正し、引き続き、検証・見直しをし、この制度が市民の考え方を適切に反映できるよう進めていくものです。

原案(全文)の公表場所

①行政情報コーナー(市役所1階市民ロビー)②山部・東山支所窓口③担当課窓口④文化会館ロビー⑤図書館ロビー⑥市ホームページ

今後のスケジュール

平成21年2月 パブリックコメント
結果公表予定
平成21年3月 議会提案、審議予定
平成21年4月 施行予定

意見提出先/問合せ

企画振興課
〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
☎39-2304 ☎23-2121
電子メール
kikaku-k@city.furano.hokkaido.jp

パブリックコメント手続の実施予告

☎企画振興課 ☎39-2304

富良野市立へき地保育所設置条例の一部改正について(統合に伴う名称変更など)

意見募集期間 1月15日(木)～2月3日(火)

縦覧手続の実施予告

☎企画振興課 ☎39-2304

富良野市森林整備計画(案)について

縦覧期間 1月19日(月)～2月18日(水)

※原案の公表場所及び意見提出先に「文化会館」と「図書館」が加わりました。

地方自治体を取り巻く環境が厳しくなるなか、自らの責任による選択と、行動することが強く求められています。そのためには、市民のみなさんと行政が情報を共有し、力を合わせながらまちづくりを進めていく「市民対話」が重要になってきます。

市では、市民のみなさんと市長が意見交換をする「市長室トーク」「市長出前トーク」を年間を通して実施しています。

地域や団体、職場の仲間で市長にまちづくりを提案してみませんか。

「市長室トーク」 市長と意見交換を 「市長出前トーク」 してみませんか？

参加対象 まちづくりに企画提案などをいただけるグループ・団体、個人

開催日時 原則、平日の午前9時～午後9時まで(1団体2時間以内)

参加ルール 企画振興課にある申込書により、開催希望の1カ月前までに申し込みしてください。市長公務との日程調整及び意見交換の内容によっては、対応できないこともあります。

※「市長室トーク」は、市民のみなさんが市長室を訪れて、市長と意見交換するものです。

※「市長出前トーク」は、市長がみなさんのところに向いて、意見交換するものです。

申込み/問合せ 企画振興課 ☎39-2304

意見を提出できる方

- 市内に住んでいる方
- 市内で働いている方
- 市内で学んでいる方
- 市内に事業所がある法人や団体

意見の提出方法

- 封書・ファックス・メールなど書面(様式は自由)・録音テープでお寄せください。
- 担当課窓口へ直接提出(郵送可)、または公表場所の意見箱へ提出もできます。
- 意見を提出するときは、住所・氏名などを記入してください。氏名などは公表しませんが、記入がない場合には回答できない場合もあります。

年頭のごあいさつ



富良野市長 能登 芳昭

新年あけましておめでとございます。

希望に満ちた輝かしい新春を皆様とともに
お迎えできましたことを心からお慶び
を申し上げますとともに、日頃より市政の
推進に温かいご支援ご協力を賜り、心から
感謝申し上げます。

昨年は、春先の遅霜などで農作物の生育
が心配されましたが、夏以降は好天に恵ま
れ順調な出来秋を迎えました。しかし、原
油高やアメリカに端を発した金融不安は、
市民生活や企業、農業の経営環境に深刻な
影響を与えています。

自治体を取り巻く環境も改善の兆しが
なく、暫くは厳しい運営が続きます。財政
健全化計画にもとづいた身の丈にあった
行政執行に加え、将来に向けて地域振興と
住民サービス改善に創意工夫を続けてい
くことが重要になります。今年、平成23
年度を初年度とする新しい総合計画の策
定に着手するとともに、市民各層との懇談
を通じて地域力と協働を高めたまちづく
りに向けて取り組みを進めてまいります。

その1つ目は、富良野市の優れた安全な
農産物と自然環境を積極的に活用した農
村交流の推進です。現在、ふるの観光協会
などが中心となって年間9万人の修学旅
行生を迎えています。今後、農業体験や
ごみのリサイクル、森林学習などの受入体
制を確立し、滞在型農村観光都市の形成に
大きく前進できるよう取り組んでまいり
ます。

2つ目は、農業、商工業の振興発展につ
いてであります。「農業及び農村基本計画」
が新年度からスタートしますので、農業者
の創意工夫や地域の主体性が生かせる足
腰の強い農業の確立に取り組んでまいり
ます。また、中山間地域等直接支払事業に
よる条件不利地の支援や、農地・水・環境
保全向上対策による農村環境の保全向上
のほか、農作物被害防止では猟友会との連
携強化を図るとともに、鹿柵設置の取り組
みを支援してまいります。

商工業については、富良野商工会議所、
山部商工会と連携して、市民、事業所が地
元購買などを通じて地域経済をしつかり
と支える取り組みを広げるとともに、商工
業者の資金需要に対応できるよう融資事
業の円滑化に取り組んでまいります。

3つ目は、中心市街地の活性化です。54
億7千万円を投資した駅前地区の整備事
業が今年の清算業務をもって完了の予定
であります。健康増進施設「ふるの」や
街なか公営住宅の建設、バス発着の駅前一
元化、JRCの相乗効果など富良野の顔と
しての機能を高めてきており、今年からは
新たに改正中心市街地活性化法にもとづ
く事業が開始されます。商工会議所、商店

街などで組織する協議会が練ってきた構
想を市が基本計画にまとめ、昨年11月に内
閣府の認定を受けましたので、「まちづく
り株式会社」が事業主体となって協会病院
跡地を活用した「フラン・マルシェ」開発
事業など、国から補助金などの助成を受け
ながら行政との役割分担によって経済の
活性化と賑わいの創出をめざした取り組
みを進めることになっております。

4つ目は、保健医療についてであります。
在宅当番制で行われている一次救急医療
は、4月から地域センター病院に提供場所
を移して引き続き医師会の協力で実施さ
れることが決まり、二次救急医療との連携
効果も期待されることです。救急医療の
受診には市民の適切な判断が重要になり
ますので、小児救急に関する冊子を作成し、
医療情報の提供や子育て支援に役立てて
まいります。

介護保険事業については、現在、第4期
計画を策定中であり、第3期計画を
分析・評価しながら、要支援・要介護認定
者の増加に伴う各種サービスの見直し、介
護療養型病床の廃止に伴う介護基盤整備
の目標などを明らかにしてまいります。

また、4月には初めての小規模多機能型
居宅介護施設が開業予定であり、通い、泊
まり、訪問のサービスのうちで食事や入浴な
ど生活上の介護や機能訓練などの支援が
受けられることから、高齢者の在宅生活の
継続と家族介護の軽減が期待されている
ところです。

5つ目は、雇用対策についてであります。
帯広の六花亭が清水山に菓子売店、レスト
ラン、美術館を建設し、来年4月にオープ

ン予定と聞いており、雇用の面からも大き
な期待をもっているところであります。

また、近年は、地域の社会経済を支える
技術者の確保が重要な課題となっていま
す。地域医療を支える医師、看護師などの
医療従事者、高齢者福祉を支える介護事業
従事者、新規農業就業者などの誘致受け入
れや育成支援に向けて、市民の皆様へ情報提
供をお願いしたり、看護学校の地元推薦枠
拡大や移住促進などの事業推進に取り組
んでまいります。

6つ目は、小中学校施設についてであり
ます。今年、耐震化推進計画にもとづいて
必要な施設の耐震診断と山部小学校屋内
運動場の改築を進めてまいります。

山部第一小学校跡地は、万華鏡の展示及
び製作体験ができるミニミュージアムとして
事業者による施設活用が始まる予定です。
最後に、広域連合についてであります。

富良野圏域の消防、給食、衛生など5つの
一部事務組合を統合した富良野広域連合
が昨年9月1日に設立され、4月から本格
移行により運営が進められます。行政サー
ビスの向上と行政執行の効果的な運営を
めざして、将来、富良野圏域5市町村は一
つという共通認識にたつて広域事業の推
進に取り組んでまいります。

これからのまちづくりには情報の共有
と市民参加、英知の結果がますます重要に
なってきます。市民や企業、事業所、関係
団体と一緒に、地域の課題解決と新
しい魅力、価値の創出に向かって市政の執
行に邁進する所存でございます。

市民の皆様のご健勝と活躍を祈念申
し上げ、年頭のごあいさつといたします。

ミニバレーを通して 力の維持と健康づくり 地域の輪を広げます。

■鳥沼スワンスポーツクラブ



毎週火曜日と金曜日に鳥沼小学校でミニバレーを楽しむ鳥沼スワンのみなさん

鳥沼スワンスポーツクラブでは、年齢や性別を超えて手軽に楽しめるスポーツ、ミニバレーボールに取り組んでおり、健康づくりや体力づくり、交流の場として、地域に欠かせない存在となっています。

女性部キャプテンの津田尚子さんは「冬場の運動不足の解消とストレスの発散に繋がっています。ボールが柔らかいこと、ルールが簡単、適度な運動量が魅力です。地域のみならず顔を合わせるのも楽しみにしています」と話します。

同クラブは、農業関係者を中心に会員は24人を数え、冬の10月から3月までの期間、毎週火曜日と水曜日に鳥沼小学校で練習を重ねています。練習は午後7時から準備運動を行ったあと、パス練習、サーブ練習、そして4人1組で試合形式の練習が行われます。試合では独特の柔らかいボールの変化にうまく対応するたびに、「ラスト」「ナイ

スアタック」と掛け声が飛び交い、珍プレーが起こると全員が笑い転げる場面もあり、真剣な練習の中にも、コートの中は笑顔と笑い声があふれています。

12月7日に行われた市民

図書館を拠点に子どもたちに絵本の読み聞かせ活動をしている「おはなしの会どんぐり」(渡辺美代代表)。毎週水曜日午後3時になると、お母さんと手を繋いだ幼児や学校帰りの小学生などが、図書館に集まって渡辺さんたちが読む絵本に真剣に耳を傾けている姿が見られます。

4年前に2人からスタートした「おはなしの会どんぐり」は、今では20歳代から70歳代の10人に増え、図書館のほかに、子ども会や幼稚園の事業に呼ばれたり、小学校で行われたブックフェスティバルで読み聞かせを行うなど活動の場を広げています。

渡辺さんは、「本を読むことは心の栄養になります。家で読むことはもちろん良いことですが読む本の好みが偏りがちになってしまいます。おはなしの会の良さは、色々な人が色々な絵本を取り上げて読み聞かせをするので、子どもたちの世界が広がります」と言います。

会員のみならず「子どもたちの顔ぶれを見て絵本を選んだり、読んでいる時に子どもの表情を見るようにするなど、自分たちも楽しみながらやっています。リクエストがあったり、子

子どもたちが 図書館に足を運ぶ きっかけになれば

■おはなしの会どんぐり



図書館で読み聞かせのボランティアをしている「おはなしの会どんぐり」のみなさんと子どもたち

C・C・C富良野自然塾

さいとう のりよ
齋藤 典世さん

西鳥沼

閉鎖したゴルフ場をもとの森に還す



「目先のことだけではなく100年200年先をどのようなまちにしたいか考えることが大事」と言う齋藤さん

ミックスミニバレーボール大会には、鳥沼スワンスポーツクラブから5チームが参加しました。一般の部では、全市から有力チームが集まるなか、昨年に引き続き鳥沼チーム同士による決勝戦が行われました。津田さんは強さの秘訣を

「バレー経験がほとんどありませんが、私たちには日ごろからPTAや地域の事業などを一緒にやっている仲間の団結力があります」と話します。酒井真志さんは「技量を高めるだけでなく、交流を深めることも目的」と言います。

「試合後の懇親会も参加者の楽しみの一つ」と話し、「今は30代を中心に盛り上げていますが、世代交代もしていきます。ミニバレーを通して、鳥沼地区の将来の発展に向けた人間関係を作ってほしい」と話します。

どもやお母さんが絵本を読んでもくれることもあります。楽しさが伝わったときは本当にうれしいです」と笑顔で話します。

「この活動を続けていくことで、子どもたちに本と触れ合う機会を増やし、本を好き

になって図書館に通う子どもたちでいっぱいになりたい。天気のいい日は外で読み聞かせをしたり、本の絵本を作ってみたい」と意欲的な渡辺さんでした。読み聞かせの活動に興味のある方は図書館（23005）まで。

「今やっていることは、焼け石に水なのかもしれない。でも誰かがやらなければ」と話すのは、NPO法人C・C・C富良野自然塾でフィールドディレクターとして閉鎖したゴルフ場を森に還す事業や環境教育事業を展開している齋藤典世さん。

「今やっていることは、焼け石に水なのかもしれない。でも誰かがやらなければ」と話すのは、NPO法人C・C・C富良野自然塾でフィールドディレクターとして閉鎖したゴルフ場を森に還す事業や環境教育事業を展開している齋藤典世さん。

「C・C・C富良野自然塾」では、種から大事に育てた苗木約3万本を植樹していますが、ゴルフ場が森に戻るまで50年以上はかかると言います。

環境問題について「目先のことでではなく100年、200年先をどのようなまちにしたいか考えることが大事」と言い、「今後、富良野市が環境教育の先進地と言われるようになり、この取り組みが全国に広がってほしい」と齋藤さんは話します。

「森になるのを自分は見届けられないので、自分では見届けることができないでしょう。沖縄や九州、関西方面からも参加してくれていますが、地元の方の参加が少なく残念です。北海道は自然に恵まれていると思いますが、自然が壊されている現実が気づいてほしい」と切実に話します。

植樹のほかに、『地球の道』などを体験するプログラムや『闇の教室』、『森のようちえん』など様々な環境教育プログラムも行われており、利用者は年間3千人にもなります。「近年騒がれている環境問題について、頭だけではなく体験を通して理解してもらっています。自分も何かしなければと感じてくれているみたいですよ」と話します。

受賞おめでとうございます (順不同)



瑞宝双光章

白倉 則夫さん

白倉さんは、昭和37年から40年以上に亘り学校薬剤師として、学校環境衛生の維持改善や児童生徒の健康管理に尽力され、学校保健の推進に大きく貢献されました。昭和60年には、北海道学校保健会から功労表彰を受けています。また、昭和48年商工会議所議員に就任後は地域商工業の振興にも貢献されたことが表され瑞宝双光章を受章しました。



瑞宝単光章

高岡 一男さん

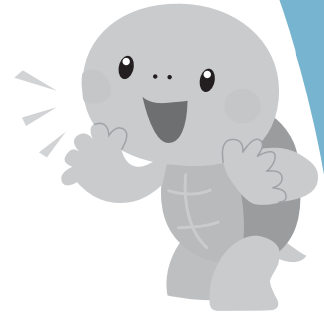
高岡さんは、昭和26年から40年以上に亘り麓郷消防団員に所属し、火災や風水害などの災害に迅速的確な判断と指揮命令によって、幾多の被害に対して多大な功績を上げており、また、消防団員の教育訓練や消防施設の維持管理、火災予防対策など消防の使命達成のために積極かつ献身的に職務を遂行していることが表され瑞宝単光章を受章しました。



総務大臣表彰

赤塚 健さん

赤塚さんは、昭和58年から緑町第6町内会長、平成5年から緑町連合町内会長、連合町内会協議会会長などを歴任し、平成16年に富良野市社会福祉協議会副会長、上川管内町内会自治会連絡協議会会長、平成13年から北海道町内会連合会の理事、平成16年からブロック総括理事として町内会活動に貢献されていることが表され総務大臣表彰を受賞しました。



わたしの美術館

「夏花風景」

作 いち葉会
高橋 葉子さん

温かみがある和紙を使い、小さくちぎり『夏花』を表現してみました。ちぎり絵はとてもやりがいがあり、楽しいです。月1回教室をやっていますので興味のある方は高橋さん（☎22-2308）まで。

みなさんの作品（絵・手芸・工作など）を募集しています。自薦・他薦は問いませんので、たくさんのご応募をお待ちしています。応募、問合せ先は・・・企画振興課 ☎39-2304



上富良野町

第45回かみふらの雪まつり

「崖の上のポニョ」をテーマにした雪像や親子で楽しめる体験型・参加型のイベントを開催します。

飲食コーナーもありますので、ぜひ、お越しください。

と き 2月8日(日)
午前10時～午後4時

ところ 日の出公園特設会場

☎運営委員会 ☎45-6983

中富良野町

ウインターフェスティバル2009

冬の寒さを吹き飛ばそう！

2月8日(日)北星山スキー場で開催されます。

会場では、冬ならではの愉快的イベントが盛りだくさん！体が温まる飲み物、食べ物も用意しています。冬の寒さを吹き飛ばして、子どもから大人までみんなで楽しみましょう。

☎実行委員会 ☎44-2204



南富良野町

第4回かなやま湖「氷上ばかんす！」

冬のかなやま湖で1日楽しく過ごしてみませんか。

会場では、アラスカ野球大会やワカサギ釣り体験のほか、犬ぞり体験など様々なイベントを用意しております。ぜひ、家族お揃いでお越しください。

と き 2月15日(日)
ところ かなやま湖畔キャンプ場
周辺の湖上特設会場

☎商工会 ☎52-2605

占冠村

極寒「-20℃」体験

アルファリゾート・トマムで、-20℃の極寒体験をしてみませんか？「凍るシャボン玉」「タオルでフェンシング」「手持ち花火」「できるか！足湯(予定)」などの特別企画が盛りだくさん。みなさん、ぜひ遊びに来てください！

と き 1月24日(土)～2月7日(土)
午後5時～午後10時

ところ アルファリゾート・トマム
アイスビレッジ

☎アルファリゾート・トマム ☎58-1122

ZOOM UP まちのできごと FURANO



富小4年生が環境を訴えるポスターを作成

市民に身近な環境やごみの問題について関心を持ってもらおうと、富良野小学校4年生がポスターを作成し、市役所や大型商店などに掲示しました。「ポイ捨て禁止」「電気のムダ使いは止めましょう」などと環境の大切さについてポスターを通じて呼びかけています。同校児童の安井章博さんは「富良野をきれいなまちにしたい。ポイ捨てはやめましょう」と訴えていました。



みんなで楽しめる「フロアカーリング」

富良野で初めての「フロアカーリング教室」が12月10日、スポーツセンターで体育指導員や老人クラブの方など16名が参加して行われました。フロアカーリングは、平坦な床面上で運動靴を履きキャスターのついたフロッカー(球)を床を滑らすように投げ、ターゲット(目標)にどれだけ近づけたかを競うゲーム。ルールも簡単で、子どもからお年寄りまで幅広く楽しむことができそうなることから、参加者は、富良野でも広めていきたいと意気込んでいました。



ミニバレー大会で160名が熱戦を繰り広げる

市民ミックスマニバレーボール大会が12月7日、スポーツセンターで行われ、地域や職場などの仲間28チーム約160名が参加しました。日頃の練習の成果を発揮して、コントロールの難しいボールを巧みにコントロールしながらサーブ、レシーブなど声を掛け合いながら熱戦を繰り広げ、心地の良い汗を流していました。一般の部では「鳥沼おもいきりEチーム」、40歳以上の部では「MVC-A」チームがそれぞれ優勝しました。

消費生活センター

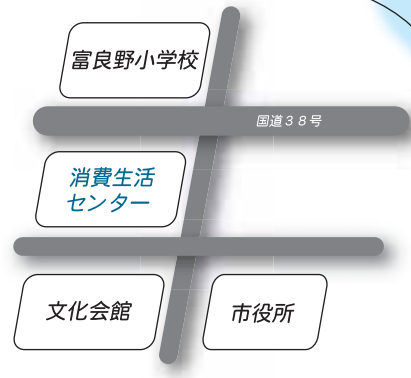
消費者相談 Q & A

振り込め詐欺かな？ (60代 男性)

Q 突然民事裁判通達書というハガキが届きました。契約不履行につき裁判を起こすなどと書かれていて、「裁判の取り下げをする場合は まで連絡ください」とありました。以前契約したクレジットの未払いの件かと思い電話をすると、弁護士を紹介され、裁判を取り下げるために供託金と和解金100万円が必要だと説明され、振り込みました。お金は戻るとの説明だったのにその後連絡も無く、2カ月たっても返金されません。騙されたのでしょうか。

A ハガキを見ると、明らかに架空の団体名であり、振り込め詐欺にあったものと思われます。法律事務所も存在せず、弁護士も含め詐欺と思われます。警察へ被害届を出し、金融機関には振込口座の取引停止を求めよう助言しました。しかし振り込みをしてから時間が経っているために、お金が戻る事は難しいと思われる。

最近では日本郵便の「エクスパック」を悪用した還付金詐欺が発生しています。また、これから始まる政府の「定額給付金」の給付手続きを装って口座番号を尋ねる詐欺も既に報告されています。今回のように少しでも身に覚えがあれば、焦って連絡しがちですが、落ち着いて考えてみる事が大切です。騙されているのかなと迷った時は1人で悩まず消費者センターへご相談ください。



消費相談・ダイヤル交換市は

富良野市消費生活センター
若松町17番1号 ☎39 1166

月～金曜日 午前10時～午後4時

クーリング・オフ葉書は富良野郵便局、若葉郵便局、各支所にも置いてあります。

- ダイヤル交換市**
- ◆登録は随時受付けています。
 - ◆登録期間は6カ月です。
- 譲ります**
- 反射式ストーブ ●介護用電動ベッド ●ピリヤード(おもちゃ)
 - 小型電気温風器 ●電気堀こたつ
 - 用ヒーター ●木製学習机 ●スキー一式(大人) ●ノルディックスキー一式(女の子正装一式(120cm))
 - 男の子革靴(20cm) ●富良野住宅地図
- 譲ってください**
- ひざ掛け ●LPガスコンロ ●本棚

消費生活センターと各支所に「衣類回収ボックス」が設置されています。不要になった衣類(綿50%以上のもの)の回収にご協力ください。

ごみQ & A

寄付 ありがとうございます

生涯学習センターへ

野呂喜美江(東町)

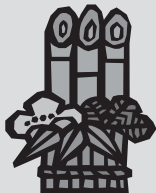
岡持ち、旅行カバン、角樽ほか
59点

西岡利明(北の峰町)

Eレコード83枚

新谷留美子(朝日町)

慰問袋、婦人服、ハーモニカほか
131点



順不同・敬称略

Q 冬期間(12月～3月)は枝草類の収集がないため、家の中の観賞用草花や仏壇花は、何ごみで出したらいいのですか？

A 観賞用草花や仏壇花は生ごみで出すことができます。生ごみ袋が破れる恐れのあるときは、小さめに切って、新聞紙に包んで出してください。なお、冬期間は生ごみが凍結する恐れがありますので、収集日当日の朝、決められた時間(市街地区は朝9時、農村地区は朝8時)までに必ず出すようにお願いします。

Q 牛乳パックは、どのように捨てればいいのですか？

A 牛乳パックを捨てるときは、4つのルール(①洗う②切開く③乾かす④ひもで縛ってまとめる)に従い、新聞雑誌・ダンボールの日に出してください。牛乳パックは良質なパルプ材からできていて、牛乳パック6枚で1個のトイレットペーパーにリサイクルされます。今後とも分別にご協力をお願いします。

分別に迷ったら、市民環境課(☎39 2308)へ

「弟が大好きです♡」

左から
丸山 悠月さん(3歳)
はるき
遥生さん(2カ月)
錦町



わんぱくざかり

「来年5月もう一人兄弟が増えます♡楽しみ〜♪」

手前から
佐藤結菜さん
(3歳)
ひな
姫菜さん
(2歳)
新光町

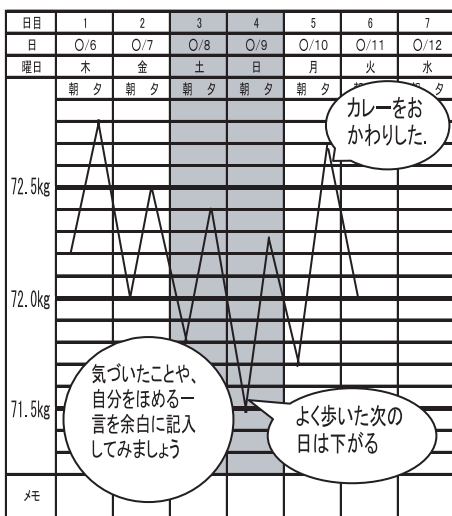


お子さんの写真を募集しています！

応募は、①住所②氏名③電話番号④お子さんの名前(ふりがな)と年齢⑤簡単なコメントを添えて、持参・郵送・メールのいずれかの方法で「広報ふるの」までお寄せください。(メールアドレス kikaku-k@city.furano.hokkaido.jp)

健康情報

Health Information



年末年始、夜遅くまで食べたり飲んだり、ゴロゴロ過ぎて、体重が増えてしまった経験がある人は多いと思います。特別な日ですからある程度仕方ないことはいえ、いつまでも増えた体重を残さないようにしたいものです。

増えた分は元に戻す心がけを

増えた体重のほとんどは脂肪です。前日食べ過ぎただけなら、1、2日努力をすれば体重は元に戻るのですが、年末年始の宴会続きなどで3、4日食べ過ぎが続いた場合は、元に戻すのに1週間以上の努力が必要になります。

体重が増えれば増えるほど、元に戻すのは困難になりますから、早めに体重測定し、1kg増えたら1kg戻すという心がけがとて大切です。

お元気ですか 保健師 です

●冬太りしないために

体重記録をつけてみましょう

毎年、冬太りして後悔している方には是非、1日2回体重測定することをお勧めします。体重計は100g単位で測れるデジタル体重計がお勧めです。アナログ体重計は1目盛りが大きいことや、重心を傾けて少なめに目盛りを読んでしまいがちですね。

まずは朝、起床してトイレ後の体重を測定してみてください。それが本来のあなたの体重です。次に夕食後、体重を測ってみてください。体重が1kg前後増えていると思います。その日に食べた量が多ければ多いほど、体重も正直に増えていることがわかると思えます。そして翌朝、また起床してトイレ後の体重を測ってみましょう。

前日と同じ体重に戻っていますか？

わずか200〜300gの体重変化でも積み重なれば大変なことです。上図のようにグラフ化しておくことで変化が見えやすく、食生活の見直しにもなると思います。朝、体重を測って前日より増えていたら、その日は何に気をつけたらよいか、もうお分かりですかね。

くらし

確定申告のお知らせ

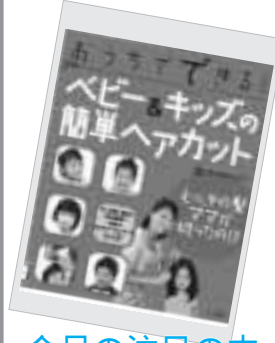
確定申告書は、「前年の申告書控え」や「確定申告の手引き」を参考に各自で作成し、富良野税務署または市役所税務課に提出してください。
また、確定申告書は、国税庁ホームページ (<http://www.nta.go.jp>) の「確定申告書等作成コーナー」で簡単に作成することができます。
申告の際には、印鑑や「前年の申告書控え」、確定申告に必要な書類を持参ください。
①平成20年分所得税（住民税及び個人事業税）の受付期間

児童書（新着）

くものがっこう みらい なな
はちみつチーズケーキ たちもとみちこ

一般書（新着）

イノセント・ゲリラの祝祭 海堂 尊
直江兼続の義と愛 火坂 雅志
けちゃっぷ 喜多 ふあり



おうちでできる！ベビー&キッズの簡単ヘアカット
アーク出版

上手なカットはプロに任せるとしても、せめて失敗せずに子どもの髪をカットする方法を知りたい。そんなパパ&ママに、3~7歳のスタイル別のヘアカットと、0~2歳の髪の特徴別ヘアカットのテクニックを伝授。

今月の注目の本

図書館だより

開館時間 火~金曜日 午前10時~午後6時
土・日曜日 午前9時~午後5時

2階多目的ホール 1月10日(土)午前10時
「冬休み特別企画！おじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらう昔ながらのお正月遊び&ブックウォーク完走者のありがみ釣り大会」
★12月9日~1月9日までに20冊以上かりた小学生以下の方には、動物折り紙釣りの参加券を差し上げます。1月10日(土)午前10時から、釣った動物ありがみと認定書、しおりをプレゼント！

1階おはなしコーナー
1月21日(水)、28日(水) 午後3時
「どんぐりおはなし会」

1月の休館日 1日(木)~5日(月)、12日(月)、13日(火)
19日(月)、26日(月)、30日(金)

問図書館 ☎22-3005

②平成20年分消費税及び地方消費税の受付期間
2月16日(月)~3月16日(月)
2月16日(月)~3月31日(火)
問富良野税務署
税務課 ☎22-2144
☎39-2302

便利なe-Taxをご利用ください
e-Taxは、インターネットができるパソコンがあれば、税務署に出かけることなく国税に関する各種手続（所得税などの申告、全税目の納税及び各種申請・届出）を自宅などから行うことができます。
①国税庁ホームページから電子申告

自宅から国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用して、e-Taxに送信することができます。
②最高5000円の税額控除
平成20年分の所得税の確定申告を電子署名及び電子証明書を付して、申告期限内にe-Taxで行つて、所得税額から最高5000円の控除を受けることができます。（平成19年分の確定申告で本控除の適用を受けた方は受けられません）
③添付書類の提出を省略
所得税の確定申告をe-Taxで行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票などは、その記載内容を入力して送信することにより、提出または提

示を省略することができます。（確定申告期限から3年間、添付書類の提出または提示を求められることがあります）
④還付金がスピーディー
e-Taxで申告された還付申告は早期処理されます。
e-Taxホームページ
<http://www.e-tax.nta.go.jp>
問富良野税務署
☎22-2144

障がい者控除対象者認定書の交付
身体障害者手帳などの交付を受けていなくても、65歳以上で要介護認定（要支援は除く）を受けている方は、確定申告で障がい者控除の対象となる場合があります。

なる場合があります。
該当する方には、認定書を交付しますので、福祉課に相談ください。
問福祉課 ☎39-2211

おむつ代の医療費控除の手続き
大人用おむつ代の医療費控除を受けるための確定申告が2年目以降の方は、市が発行する「確認書」で代用できるようになっています。
なお、1年目（初めて）の申告には、従来どおり「医師の証明書」が必要になります。
発行場所 介護保険課（保健センター2階）
問介護保険課
☎39-2255

裁判員制度
裁判員の役割
①法廷での審理に立ち会う
裁判員に選ばれたら、裁判官と一緒に、刑事裁判の法廷に立ち会います。
法廷では、証人や被告人に対する質問などが行われ、裁判員から証人などに質問することもできます。このほか、証拠として提出された物や書類も取り調べます。
②評議、評決を行う
証拠をすべて調べた後、被

被告人が有罪か無罪か、有罪だとしたらどんな刑にするべきかを、裁判官と一緒に議論し(評議)、決定(評決)します。議論を尽くしても、全員の見解が一致しない場合、評決は、多数決により行われます。有罪か無罪か、有罪の場合にどのような刑にするかについての裁判官の見解は、裁判官と同じ重みを持ちます。

③判決の宣告に立ち会う
判決の内容が決まると、法廷で判決の宣告がされます。裁判官は判決の宣告に立ち会い、裁判員としての仕事を終えます。

岡旭川地方裁判所事務局
☎0166・51・6255

1月10日は110番の日

110番は、事件・事故などが発生した場合に警察へ緊急通報するための電話です。電話に出た警察官の質問に、慌てず落ち着いて正しく答えてください。

携帯電話で110番通報する場合は、移動していると通話がとぎれることがあり、車を運転しながらの通報は法令違反となります。必ず、安全な場所に停止して通報してください。

また、警察官が早く現場に到着できるように、その場所の住所や付近の目標となる建物など正しく伝えてください。聴覚障がい者等メール110番は、耳や言葉の不自由な方が携帯電話のEメール機能を利用して緊急通報するシステムです。通報する時は、「事件、事故の内容」「詳しい場所、目標物」と「メールアドレス」を正しく入力してください。急を要しない相談や照会などは、警察相談電話「#9110」または富良野警察署に問い合わせください。

岡富良野警察署
☎22・0110

振り込め詐欺などの被害防止のために

①振り込め前に落ち着いて事実確認
振り込め詐欺は、被害者の弱みや肉親の心配する気持ちにつけ込み、さまざまな手口で被害者をだまして、現金を振り込ませる悪質な犯罪です。不審な電話がかかってきたり、身に覚えのない郵便物などが届いたら、まずは事実の確認をしましょう。

息子や身内を名乗って現金の振り込みを依頼されたときは、冷静になってすぐに振り込まず、本人や家族に確認相談しましょう。

②一人だけで判断しないこと

少しでも不審だと思ったり、どうしても良いかわからない場合などには、家族はもちろん気軽に警察に相談してください。もし、現金を振り込んだ後で被害にあつた事に気付いた時は、一人で解決しようとせずに速やかに警察と振込先の金融機関に連絡しましょう。

岡富良野警察署
☎22・0110

冬山の遭難事故防止と冬山の装備、計画をしっかりと

冬山には、見渡す限りの銀世界、白雪を踏んで、自然と闘いながら山頂を極める醍醐味など、夏山とは違う大きな魅力があります。その反面、吹雪などの悪天候、寒気、雪崩などの危険な要素を多くはらんでおり、遭難事故も多く発生しています。次のことに注意して、冬山遭難事故の絶無に努めましょう。

①無理のない計画と登山届の提出を
②パーティーでの登山を
③万全の装備と余裕のある食糧などの準備を
④通信機器の携行を
⑤入山前に気象状況の確認を
⑥冬山では慎重な行動を

岡富良野警察署
☎22・0110

スリップによる交通事故防止

例年この時期は、圧雪や凍結路面など冬道での事故が多発します。誰でも一度くらいは冬道でスリップし、ヒヤッとした経験があると思います。冬道での事故を防止するため、次のことに注意しましょう。

①速度を控えて路面状況を確認しましょう
②冬道で急発進、急ブレーキ、急ハンドル、急加速などの「急」のつく動作はスリップの原因となりますのでやめましょう
③車間距離を十分にとりましょう
④雪山の陰から出てくる歩行者や車に要注意
⑤緩やかなカーブや下り坂でも事前の減速を

岡富良野警察署
☎22・0110

催し

ノルディック・ウォーキングの集い&市民体験講習会

冬も元気に健康づくり！
ストックをつけて歩くノルディック・ウォーキングは、

雪道も安心して歩けます。正しい基本動作を学んで冬歩きを楽しみましょう。

① 山部地区会場

とき 1月18日(日)、25日(日)、2月15日(日)、22日(日)
午前10時～11時30分

集合場所 生涯学習センター
(悪天候の場合は、建物の中を歩きます)

② 弥生町会場
とき 1月10日(土)から1月2月、3月の毎週土、日曜日
午前10時～11時30分

集合場所 弥生町若葉通り市職員駐車場(保育所裏)
(悪天候の場合は、予告なしに中止することがあります)

③ 若葉町会場
とき 1月13日(火)から1月2月、3月の毎週火曜日
午前10時～11時30分

集合場所 若葉球場トイレ付近
(悪天候の場合は、予告なしに中止することがあります)

参加料 無料
申込み 申し込みの必要はありませんので直接会場にお越しください。
注意事項 ①体調の管理には十分留意ください。すべて自己責任の範疇での参加になり、主催者は責任を負いません。

②ウォーキング専用ボールの貸し出し希望する方は、事前

に事務局まで連絡をしてください。数に限りがあります。
〒北海道ノルディック・フィットネス・ウォーキング協会事務局
角幡さん ☎23・416・9

募集

**ちびっ子探検学校
ヨロシ島参加者募集**

在日外国人小学生と活動を共にし、国際的感覚を身につけ、これからの活動に役立てたいという児童を募集します。
とき (6泊7日)
平成21年3月27日(金)～4月2日(木)

ところ 鹿児島県大島郡与論島
募集人数 15名
対象 小学2年生～6年生
で、ルールを守り仲間を大切にできる方

主な活動内容
ハーレー船大会、いかだ作りといかだごぎ、民族村訪問、サトウキビ搾り体験、ヨロシエイサー踊り、外国人との共同生活など

参加費 152000円
補助 参加費と旭川空港までの交通費を合わせた額の50%程度を助成します。
申込み 平成21年2月6日(金)までに企画振興課にある申込

書で申し込みください。
説明会(希望者のみ)
平成21年2月15日(日)
午後3時30分

札幌市生涯学習センター「ちえりあ」(札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10)
その他 募集締切後に、国際交流審査委員会で、補助の可否と金額を決定します。

企画振興課
☎39・2303

**建設工事等入札参加資格
審査申請書の受付**

富良野市が平成21年度及び平成22年度に発注する工事請負契約等に係る指名競争入札等に参加を希望する方の資格審査申請書の受付を行います。
なお、申請に必要な資格等申請に関する事項は、市のホームページ(道路・公園・都市)入札・契約内)に詳細を掲載しています。

受付内容 ①建設工事 ②設計・測量等業務 ③一部建設関係物品等
受付期間 (土日祝日除く)
1月19日(月)～2月20日(金)
提出書類 ※郵送でも可
市町村統一様式(物品のみ市独自様式)、80円切手と返信用封筒(持参の場合も必要)、納税証明書
※国税については、納税証明

書の3の3(法人)または、3の2(個人)の書式、富良野市税を課税されている方は、納税証明書(平成20年分)が必要で、(国税、市税ともコピー可)
圏都市施設課
☎39・2313

**富良野緑峰高等学校
農業特別専攻科生徒募集**

自家の農業経営に携わりながら、農業の専門的知識技術を学びたい方を募集します。
資格 高等学校またはこれに準ずる学校を卒業した方、または本校校長が認められた方
修業年数 2年
募集人員 20名

検査日 1月23日(金)
検査内容 作文及び面接
申込み 1月6日(火)～15日(木)までに富良野緑峰高等学校にある出願書類で提出してください。

圏富良野緑峰高等学校
☎22・2594

**平成21年度保育所入所
児童を募集**

地域に関係なく希望する保育所に入所できます。

**① 中央保育所、麻町保育所
募集年齢**
0歳児(中央保育所のみ)



広告



広告

1歳～5歳児
保育時間（月～土曜日）
午前7時30分～午後6時

認可保育料 保護者（両親）
及び生計中心者の前年分の所得税または前年度分の市民税額により決定し、同一世帯から2人以上の児童が入所するとき（保育所の他に幼稚園に入園している児童も人数に含める）は、2人目は半額、3人目からは10分の1の額になります。

入所基準 共働き、パート、内職、自営、病人の介護などで保育が困難な家庭の児童

②へき地保育所（山部、東山麓郷、布礼別）
募集年齢 3歳～5歳児

※東山、麓郷、布礼別保育所のみ、2歳児でも3歳になった翌月から入所可能ですので問い合わせください。

保育時間
（月～金曜日）
午前8時30分～午後3時30分
（土曜日）午前8時30分～正午
へき地保育料 月額 1万円

入所基準 共働きなどで保育が困難な家庭の児童や入所が適当と認められる家庭の児童

③申込み（共通） 1月6日（火）～30日（金）までのごも未来課支所、各保育所にある申込書により申し込みください。

☎39・2223

平成21年度学童保育センター入所児童を募集

募集施設 桂木学童保育センター、麻町学童保育センター、緑町学童保育センター、北の峰学童保育センター、東部学童保育センター

保育時間
（月～金曜日）午後1時～6時
（夏・冬・春休み、土曜日、臨時休校日）
午前8時30分～午後6時

利用料 月額 1500円
入所基準 下校時、保護者が不在の小学3年生以下の児童
申込み 1月6日（火）～30日（金）までのごも未来課、各学童

保育センターにある申込書により申し込みください。
※緑町・麻町・東部学童保育センターは、居住地域により入所調整があります。
☎39・2223

「第41回北海へそ祭り」ポスターデザイン大募集

募集期間 2月13日（金）まで
資格 富良野市民
使用目的 ポスターやうちわに使用（予定）
注意事項
①応募規格は、A4版タテサイ
②文字（北海へそ祭り）、日付

（7月28日・29日開催）を入れ、絵・デザインも含めて応募してください。

③採用されたデザインの権利は実行委員会に帰属します。
④応募者は、住所、氏名、電話番号がわかるように応募してください。

⑤作品数は、2点まで応募できます。
選者 北海へそ祭り実行委員会
応募先/問合せ
〒076-8555
富良野市弥生町1番1号
富良野市商工観光課内
北海へそ祭り実行委員会
☎39・2312

年金だより

20歳は国民年金に加入する年齢です

年金は、自分の老後のためだけでなく、自分の親などの老後をみんなで支えあうことを目的に作られた制度です。

また、一家の働き手が亡くなったときや、思わぬ病気やけがで障がいが残ったときにも遺族年金や障害年金が支給されます。

加入の手続きをしなかったり、加入しても保険料を未納にしていると、将来年金が受け取れなくなる場合があります。忘れずに加入して保険料を納めましょう。

学生や低所得などの理由で保険料を納められない方には、免除制度がありますので、ご相談ください。

社会保険事務相談は予約制です

毎月1回行っている社会保険事務相談について、相談者の増加・待ち時間の短縮及び相談業務の充実を図るため、『事前予約制』を導入しています。予約方法は、市民年金係にある相談予約票で申込をするか、旭川社会保険事務所相談予約担当へ電話、ファックスで申し込みできます。相談は予約者が優先されますので、予約していない方は相談を受けられないことがあります。相談を受ける場合は、必ず予約をお願いします。

旭川社会保険事務所相談予約担当

☎0166-72-5004 ☎0166-25-5589

保険料の支払いはお忘れなく

国民年金・老齢基礎年金の裁定請求手続き

昭和19年1月生まれ（満65歳）の方は、誕生日の前日から手続きができます。厚生年金を受給している方は、誕生月に送られてくるはがきが、基礎年金の手続きになりますので、改めて手続きする必要はありません。

❖必要なもの

印鑑・預金通帳・戸籍謄本・住民票謄本など

❖市役所 番窓口にお越しください。

☎市民環境課 ☎39-2301

広告

播州織を使った
ファッションショーを開催

播州織を使ったファッションショー「デザイナー・コレクション」が11月16日に開催され、約1000名が訪れました。西脇市の企業が素材を提供し、京阪神で活躍する新進デザイナー5名がデザイン。魅力的な作品の数々は、高級感を漂わせ、播州織の魅力を発信したそうです。(広報にしわき12月号より)



こうほう 平成21年1月号 568

発行/富良野市
編集/総務部企画振興課広聴広報係
〒076-8555 富良野市弥生町1番1号
TEL 39-2304 FAX 23-2121
富良野市ホームページ
<http://www.city.furano.hokkaido.jp/>

編集
後記

冬場の体力づくりの一つとして、ふらのフットサルリーグに参加しています。試合は10分ハーフの後半で行われますが、3分ぐらい走り回ると息が切れ、足が止まってしまう。残すところあと数試合。体力は無くても、チームワークで勝利をめざして頑張っていければと思います。(と)

扇山小学校で行われた「ブックフェスティバル」にお邪魔しました。体育館の床一面に約2,000冊の本が並べられたほか、しかけ絵本などの展示もあり、子どもたちは目を輝かせながら本を選んでいました。昔読んだことのある本もあり、本は世代を越えて読まれ愛されているんだなと思いました。(み)

西空のむらさき薄きお元日

手代 満恵

童女にとかへる母との福笑ひ

森 美代子

ほほ紅を少しぼかして初鏡

山田クニ子

寒の入り気を張りつめて電気消す

小玉美智子

初場所に問はるる綱の心技体

木戸 美星

元朝の身支度紅を淡く刷く

中田 通子

俳句 短歌 文芸

松ヶ枝の餌箱はくらく静もりて
雀どち来ぬ今朝のどか雪

町屋 和子

翼ふり二羽の鴉が帰りゆく
子らは待ちゐむ夕茜雲

森高 緑子

降りやまぬ雪みるころ静かなり
老後の住み家を施設と決めて

富永スミ子

コンサート娘に誘はれてキララホール
ヴァイオリンの音 心にしみ入る

三上 和子

日本国治安はよかつたはずなのに
今の乱れは悲しみ多く

村上 ユミ

今月のラジオ ラジオふるのFM77.1MHz

災害時には、市とラジオふるのとの協定により、災害情報が流れます。

行政情報番組 ラジオ広報「ふるの」

・放送日時 毎週 月曜日～金曜日
午後6時～6時5分

まちづくり情報番組 元気ハツラツ!まちづくり

・放送日時 1月24日(土) 午前10時～10時45分